

東神戸医療互助組合

2017年度総代会方針(案)

スローガン

☆戦争法廃止、立憲主義回復の運動、社会保障改悪を許さない、総がかり行動に積極的に参加しよう！

☆HPH（ヘルス・プロモーターイング・ホスピタル）推進、無差別・平等の地域包括ケア、〃居場所〃を増設し安心して住み続けられるまちづくりをすすめよう！

☆「組織」を強く大きく、なかまをふやして、ひとりぼっちの組合員をなくそう！

はじめに

憲法施行70周年目の年で、安保法制（戦争法）実行、南スーダンへの海外派兵、軍事費は5年連続で5兆円を超えています。安倍自公政権は戦争政策を強行しています。「戦争法廃止」は緊急の課題になっています。社会保障は自然増1400億円を削減し、医療、介護、年金など広い分野であらゆる世代へ負担を押し付けています。貧困と格差は拡大し、子どもの貧困は6人に1人が相対的貧

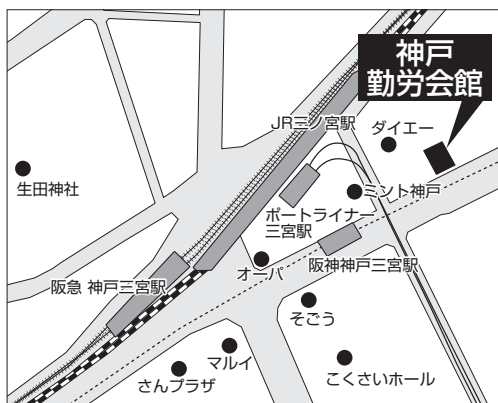
困状態におかれ子どもの健康が脅かされています。

地域では支え合いや助け合いが弱まり、個人が地域の中で孤立しやすい状況が生まれています。公的責任の切り捨てをさせないたたかいと、介護保険から追い出された人びとの受け皿づくりが必要です。

今総会は2016年度の活動のまとめ、2017年度の方針、規約の改訂、次期役員を決定する重要な総会です。

第41回総代会会場のご案内

とき **6月4日(日)**
午前9時30分開場 10時00分開始



ばしよ

神戸労働会館
7Fホール
☎ (078) 232-1181
市営地下鉄、JR、阪急、阪神、ポートライナーの各三宮駅から
東に徒歩5分

2016年度のまとめ

戦争法廃止、平和と 社会保障を守る活動

一昨年の秋から、戦争法廃止「2000万署名」にとりくんできました（目標四者で25000筆）、短期間のうちに100000筆を超え、最終12007筆（6月末）に到達しました。100筆署名推進登録が83名、「戦争法廃止署名」100筆達成者は21



名に達しました。東灘地域では憲法共同センターの事務局も担当し毎月19日を中心に街頭宣伝を実施しました。

平和のとりくみでは被爆者が訴える新しい「核兵器廃絶署名」がスタートし、2020年のNPT再検討会議をひとつの節目にとりくみが始まりました。原水爆禁止世界大会（広島）には6名の代表を送り、平和行進や地域原水協と69行動や原爆パネル展示なども開催（東灘）。

地域社保協と「国保料相談

会や「なんでも相談会」を行いました。

神戸市国保改善署名は2018年に予定されている「国保の都道府県単位化」にともない、3年前の改悪時に保険料の急激な値上がりを抑制するために設けた神戸市の保険料の軽減制度を廃止しようとしています。神戸市国保改善署名にとりくみ5000筆目標（四者）で到達3752筆でした。

「このちとらしを守るハンドブック」学習会（9月33名参加）、「憲法、いのち、社会保障を守る国民集会」、憲法県政の会シンポジウム、県民集会などに参加をしました。

健康づくり・ 保健予防活動

共和会で「認知症予防講座」を実施し、（10/15、45名）が受講しました。「脳い

ききだより」を発行し、現在地域で開催している脳いききクラブ（現在6か所）を紹介しています。

体験型ヘルスアップチャレンジに134名が参加しました（10月～11月）。乳がんのピンクリボンの街頭宣伝、大腸がんチェック（1月～3月実施）では335件の普及と112件のチェックを実施しました。

ウォークイベント「嵐山・嵯峨野の歴史散歩」（11/25実施）では17名が参加。健康料理教室「クリスマスディナー」（12/10実施）27名参加。



青空健康チェックは10支部でとりくまれました。延べ38回実施しています。

まちづくり・居場所づくりと活動の推進・地域包括ケアへの対応

神鉄粟生線守る運動では、6回目となる応援乗車を11月20日に実施し、小野ひまわり公園と浄土寺にいきました（37名が参加）。神戸電鉄と11月25日に話し合いを持ちました。

阪神・西元町駅、阪急・春日野道駅のバリアフリー化・エレベーター設置を求める運動で、阪急花隈駅に、エレベーター設置。中央区加納町歩道橋の改善の運動にもとりく





みました。

「居場所」活動がとりくまれています。「野の花サロン」では喫茶、昼食会、囲碁サークルが、「いろいろりの家・大池」では、班会や映画、喫茶が、「ふきあいの郷」多目的室では昼食会、喫茶などが、「東神戸診療所4階多目的室」では、昼食会、喫茶、カラオケなどがとりくまれています。また「旧ほおすきの1階」では、喫茶、脳イキ、手芸（サークル）、囲碁将棋（サークル）にとりくんでいます。

共同組織の強化発展



2016年度組合員は393名（世帯 増え、実質20087組合員（世帯）になり、出資金は年間38993名の方から1億円を超える協力を頂きました。純増で4690万円の到達でした。
住吉支部が支部分割（16年5月）し、支部は15支部、活動登録は82班で開催数811回、「5つでも元気」は25取扱所で392部です。今年度25部増になりましたが減紙もあり、純増で8部増えています。
支部運営委員は50名に1名の目安で、311名が必要ですが、到達は182名にとどまっています。健康ニュース

の配布協力者は397名（うち職員52名）、配布率は79・4%〜100%と、支部間で差があります。
理事会機能を強化して運動を活性化させましょう。

共和国とともに 共同したとりくみ

9月からHPH（健康増進活動拠点病院）推進会議が開

催され、東神戸病院は健康づくり活動拠点病院の登録が（1/17）行われました。地域でとりくむHPHの活動方針が具体化されつつあります。4/1ダッシュ集会を開催しました。
秋の組織強化月間では「地域訪問でリアルに地域をつかもつ」と東灘地域で4回、筒井住宅・HAT神戸で1回、灘地域は「シンポジウム案

内」を合わせて2回、生田地域は2回実施しました。
「共同組織とともに」学習パンフレットを活用して学習も行われました。
毎年行われている「病院・医局との懇談会」は今年で10年を迎え、秋には「病院医療構想」の説明をつけ、参加者によるグループ討議を実施しました。

2017年度方針

「戦争法廃止」と立憲主義回復、社会保障改悪を許さない総がかり行動に積極的に参加しましょう。

戦争をする国づくりのため、情報統制と国民の監視体制を強化しようとしています。

政府は、オリンピックを口実にテロ対策と言って「共謀罪法」（テロ等準備罪）の創設を狙っています。市民の思想や良心の抑圧につながる重大な問題です。

一方医療介護環境は、「経

済・財政再生計画」に基づく

医療・介護・年金・生活保護の改悪が行われ、地域医療構想による病床削減とその受け皿としての地域包括ケアシステムがすすんでいます。

地域では、無差別・平等の地域包括ケアの実践、HPH（健康増進）のとりくみが今年度の重点になります。支部や活動を支える「担い手」づくり、職員との関わり、喫茶や昼食会など多彩に実施している「居場所」活動を広げ

実させましょう。

今年は、兵庫県知事選挙、神戸市長選挙が行われる年です。要求を実現する選挙と位置付け、奮闘しましょう。

平和といのち、人権を守る運動と 社会保障を守る運動

憲法を守り、立憲主義を取り戻すため、憲法共同センターや共闘団体とも協力してとりくみます。安倍政権が安

法制（安保法）を強行した2015年9月19日の国民の怒りを再現する「19日行動」、憲法25条を掲げて社会保障の拡充を求める運動に参加していきます。

5・3憲法集会に多数の参加を呼びかけます。

「核兵器のない世界」へむけ「ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶署名」を積極的にとりくみます。全日本民医連では2018年2月までに100万筆達成の目標が提起されています。地域原水協のとりくみ、平和行進への参加、原水爆禁止世界大会（長崎）へ代表を送ります。

70歳以上の高額療養費の上限の引き上げや後期高齢者の保険料「軽減特例」の廃止・縮小、65歳以上の療養費の居住費（水光熱費）の引き上げが実施され、さらなる患者負担増の計画が立てられています。

社会保障解体を許さない地域からのたたかいづくりをすすめるために、医療・介護にごまみらず、年金、保育などの運動と、個人・団体を問わず

す一致点で集まる「25条の会」の結成をめざします。

地域包括ケアのとりくみ

認知症の方を支えるとりくみが進んでいます。地域でのケア会議や、連携会議など積極的に参加をしていきます。公的責任の放棄を許さないとりくみと介護保険から排除された人たちの受け皿づくりが必要です。

介護難民を出さないため、助け合い事業に着手し、「居場所」を拠点に、地域の方や組合員が集えるとりくみを広げ、人や地域のつながりを強めます。兵庫、または生田地域で新しく「居場所」づくりを挑戦します。

健康づくりをはじめ、保健予防活動をすすめるよう

まちづくりの視点で「居場所」活動の推進とあわせて、地域包括ケアに役立つ拠点として、孤独死を出さない・顔の見える・つながる・HPH

の活動を推進します。

健康づくりと合わせて組合員健診で正しく自分の体を手エックしましょう。

ウォークイベント、料理教室、ヘルスアップチャレンジ、大腸がん手エック運動にとりくみます。

「認知症予防」の脳いきいきクラブをすべての支部でとりくみましょう。「認知症講座」に参加し、地域での見守り活動に積極的に参加しましょう。

共同組織の強化発展のために

支部の活動を活性化するためには「担い手」が不足しています。「自分たちでつくり楽しい活動」「人に喜ばれ共に成長できる活動」「自分の役割が発揮されている場」を豊かに展開して、参加できる組合員を増やしましょう。

50名に1名の運営委員（くり）をすすめます。組合員は1000名加入を目標にし、出資金は1万円の1億円増資を目標にします（純増5000万円を目標に

します）。

教育学習テキスト「共同組織とともに」を活用します。

第3回「いつでも元気取扱所」活動交流会を計画します。

組合員・支部運営委員むけ学習企画を検討します。

支部を単位に班を基礎に、組合員が主人公になる活動を定着させましょう。

第14回共同組織活動交流会が2018年9月9日〜10日、横浜で開催されます。活動の報告を持って参加できるようにしましょう。

専門委員会が総代会方針の企画、立案がされますが、支部の活性化のためにも本部の専門委員会への参加も全支部から送り出しましょう。

共和国との共同のとりくみ

HPH健康増進運動がはじまります。「孤独死（孤立死）を無くし、防ぎ、地域とつながる」に挑戦します。組合員との対話重視、緊急医療情報カードの普及と保管の推奨、班会マップの作成など計画します。

組合員の実態を把握するために地域訪問・組合員訪問などにとりくみます。

健康まつりを企画するため実行委員会を開催します。東神戸病院リニューアルについては共和国とともに成功させるために奮闘します。

目標数値

組合員 仲間ふやし10000世帯
出資金 年間10000件・1億円増資
世話人づくり 組合員50人に1人の運営委員を